

森林吸収源対策

- 森林は国土保全や水源涵養等とともに、CO₂を吸収・固定し、温室効果ガスの吸収源として貢献。
- 木材は、炭素を長期的に貯蔵するとともに、製造時等のエネルギー消費が比較的少なく、エネルギー利用により化石燃料を代替するため、CO₂排出削減にも寄与。
- 今後、森林・林業基本計画等に基づく取組を通じ、中長期的な森林吸収量の確保・強化を図り、2030年目標達成(森林吸収量2.7%)、2050年カーボンニュートラルの実現への貢献を目指す。
- このため、適切な間伐の実施等に加え、人工林において「伐って、使って、植える」循環利用を確立し、木材利用を拡大しつつ、成長の旺盛な若い森林を確実に造成。主な取組は次のとおり。
 - 間伐や、主伐後の再造林など適切な森林整備・保全の推進
 - エリートツリー等の成長に優れた苗木の活用の推進
 - 林業イノベーション等による、伐採から再造林に係る収支をプラス転換
 - 中高層や非住宅分野を含む建築物等への木材利用の推進
 - 森林づくり・木材利用の推進に向けた国民運動の展開

森林・林業・木材産業による「グリーン成長」

森林を適正に管理して、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させることで、2050年カーボンニュートラルも見すえた豊かな社会経済を実現



- 2030年度森林吸収量目標約3,800万CO₂トン(2013年度総排出量比2.7%)の達成
- 2050年カーボンニュートラル実現への貢献

計画における地球温暖化対策・施策の概要 <水産分野>

漁船の省エネルギー・ 温室効果ガス排出削減対策

- 漁船漁業における省エネルギー技術の実証の取組や省エネルギー型漁船の導入等の推進
- 漁船の電化・水素化等に関する技術確立
- フロン類を冷媒とする漁船の冷凍・冷蔵・空調機器の点検・整備、冷媒の充填・回収情報の集計等の適正な管理を指導

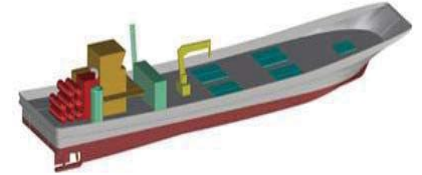
漁船の省エネルギー・温室効果ガス排出削減対策

省エネルギー型漁船の導入



LED集魚灯や省エネ型エンジンの漁船への導入を推進

漁船の電化・水素化



水素燃料電池とリチウムバッテリーを動力とする漁船の開発

漁港、漁場の省エネルギー対策

- 流通拠点漁港等における効率的な集出荷体制の構築
- 荷さばき所などの再エネを活用した発電設備等の一体的整備の推進
- 魚礁の整備や海域環境観測施設の設置

漁港、漁場の省エネルギー対策

太陽光発電設備と漁港施設の一体的整備



海域環境情報の出漁判断への活用



藻場等の保全・創造

- 藻場等の分布状況の把握や海域ごとの有効な対策の特定
- 藻場のタイプ別吸収係数評価モデルの開発、藻場の効率的な形成・拡大技術の開発

藻場等の保全・創造

食害・高水温等への対策



食害生物の駆除



構成種の変化に対応した
藻場の造成

計画における地球温暖化対策・施策の概要 <横断的な施策①>

バイオマスの活用の推進

- 地域が主体となった取組の後押し
 - ・ 各バイオマスの特性に応じて、より経済的価値の高い製品等を生み出す高度利用の促進
 - ・ 資源の再利用や副産物活用等による資源の多段階利用
- 家畜排せつ物、食品廃棄物等を活用したバイオガス発電施設の推進
- バイオ液肥の利用促進による地域資源循環の取組を推進
- 成功事例の横展開

バイオマスの活用の推進

バイオガス発電施設の推進



バイオ液肥の利用促進

- ① バイオ液肥を実際にほ場に散布
- ② バイオ液肥の肥効分析・農作物の生育状況調査等
- ③ 検証の結果を整理 地域の農業者に普及

成功事例の横展開

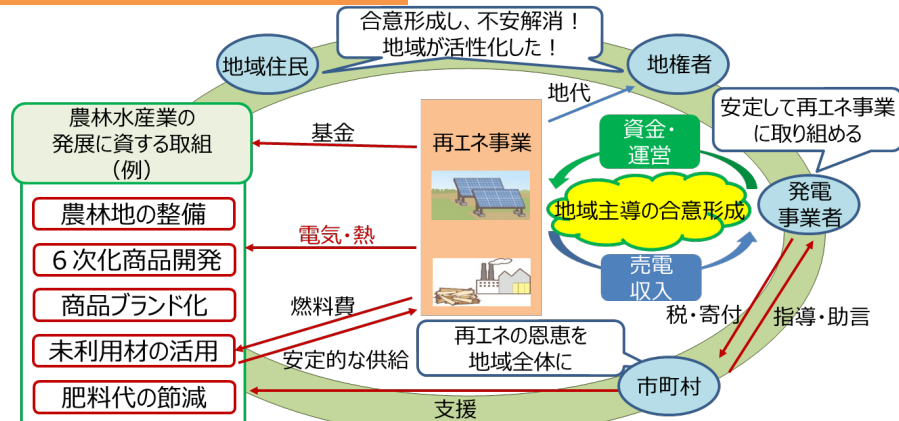


農山漁村における再生可能エネルギーの導入促進

- 営農に再生可能エネルギーを活用するための技術開発・導入推進等を図る
- 再生可能エネルギーを組み合わせた安定的なエネルギー供給システムの構築及び他地域への効率的・安定的な供給システムの構築を図る
- 農業用水を活用した小水力発電等再生可能エネルギーの導入の促進を図る
- 国産材を活用する地域に根差した木質バイオマスのエネルギー利用を図る

農山漁村における再生可能エネルギーの導入促進

優良農地の確保を前提に、農山漁村再生可能エネルギー法も活用しながら、関係者の合意を図りつつ、再エネの導入を促進



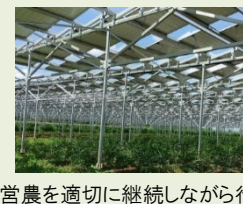
落差を利用した小水力発電施設



木質バイオマス発電



営農型太陽光発電

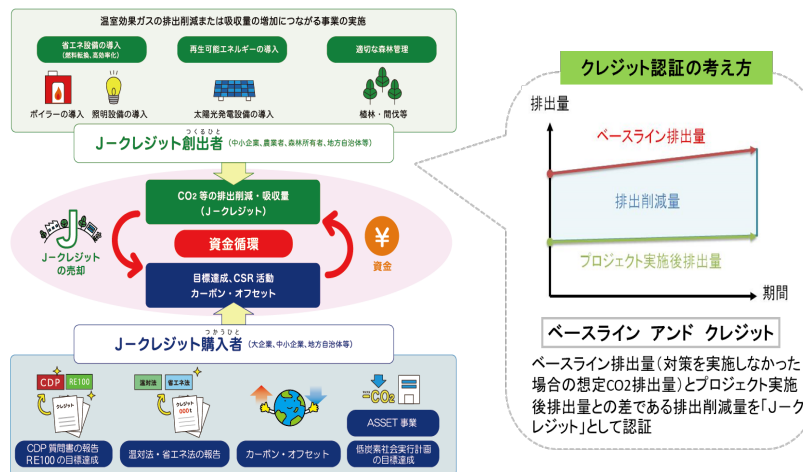


計画における地球温暖化対策・施策の概要 <横断的な施策②>

J-クレジット制度の推進

- 環境イベント等を通じたJ-クレジット制度の周知
- 農林漁業者等へのヒアリングを通じた多くの者が参画しやすい制度運営
- 優良な取組事例等の情報提供
- 農林水産分野における新規方法論の策定、プロジェクト案件形成の促進
- 森林由来クレジットの活用拡大に向けた制度改善等の検討

J-クレジット制度の推進



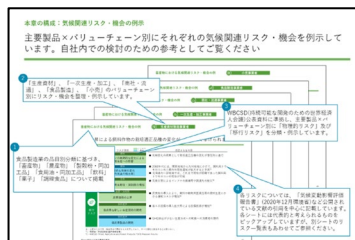
制度の概要や優良な取組事例等の情報提供

気候変動関連リスク・機会に関する情報開示、温室効果ガス排出量・削減量の可視化の推進

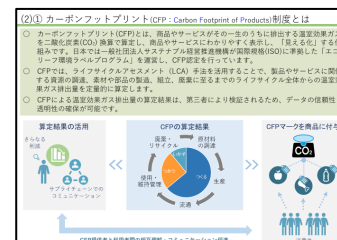
- TCFD提言に基づく気候関連リスク・機会に関する情報開示の促進
- 農林漁業関係者の脱炭素化の実践の促進
- カーボンフットプリント等による消費者の購買意欲の向上等の促進
- 農業農村整備事業による温室効果ガス排出量算定手法の汎用化

気候変動関連リスク・機会に関する情報開示、温室効果ガス排出量・削減量の可視化の推進

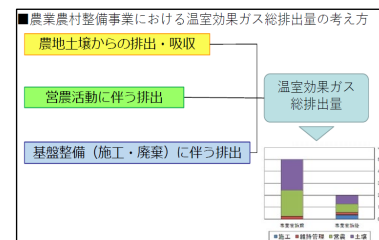
食品事業者向けTCFD手引書
(2021年6月農林水産省公表)



脱炭素化技術・可視化
に関する紹介資料
(2021年6月農林水産省公表)



農業農村整備事業における
温室効果ガス排出量算定プログラム
(2020年農林水産省公表)



畜産物、農産物など業種別に気候リスク・機会の重要課題、事業インパクト等を例示

脱炭素化技術、脱炭素化の取組を可視化するカーボンフットプリント制度等を紹介

農業用施設のライフサイクル全体で排出・削減される温室効果ガス量を簡易に算定